

BOOK HUNTING 2016

2011年からスタートし、今年で6回目となったブックハンティング。
今回は、書店で直接本を眺め、手にとった学生さんが多かったようです。

あなたも気になる1冊があるかもしれません。

さて、どんな本が選ばれたのか、見てみませんか？

ブックハンティング

理学療法学科 1年



世界から猫が消えたなら

川村元気

小学館文庫

小学館

913.6||Ka95

「大切なものは失ってから気づく」ということを痛感させられる物語です。もしもあなたが、世界から自分の大切なものを消して一日だけ生き延びることができたら、何を消しますか。世界からただ一つだけ消えただけでも世界は変わるということをこの本は教えてくれました。



世界からボクが消えたなら: 映画「世界から猫が消えたなら」キャベツの物語

涌井学

川村元気原作

小学館文庫

小学館

913.6||W35

この本は「世界から猫が消えたなら」の猫の視点から描かれた本で、世界から猫が消えたならとは少し物語は異なります。主人公が見えてなかったことも、猫は見ていて、また違った視点で物語を読むことができるので、どちらも読むことをおすすめします。泣きそうになります。



**ポジティブ・チェンジ:
自分を変えるのに頭
も根拠も希望もいら
ない!**

DaiGo
日本文芸社
140.4||D17



**なぜかまわりに
助けられる人の
心理術**

DaiGo
宝島社
140.4||D17

これらの本はメンタリストの DaiGo が著者の本です。今の自分を変えたいと思う人や、強く生きたいと思う人に読んでもらいたいです。世界が変わると思います。



**君の臍臓をたべ
たい**
住野よる
双葉社
913.6||Su63

参加したきっかけは、友達に誘われたことだったが実際に自分の読みたい本を探したり、その本に関連する本を調べたりする過程が新鮮で良かった。また、時期も本を夏休み期間中ずっと借りることができるということだったので、読む時間がとれて良かった。普通の学校生活では、なかなか本を読む機会をとれないので、自分から読みたい本を探すことで読書の習慣になって良いと思った。加えて、自分ではほしいと思ってもお金や時間がなくて本を買いに行けない人のためにより企画だと思う。ブックハンティングをして良かったと、心から思う。

